

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2001-99204 (P2001-99204A)  
 【公開日】平成 13 年 4 月 10 日 (2001.4.10)  
 【出願番号】特願 平 11-280606  
 【国際特許分類】

**F 1 6 D 65/18 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 D 65/18 A  
 F 1 6 D 65/18 E

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 6 月 28 日 (2006.6.28)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ディスクロータの両側に配置される一対のブレーキパッドと前記ブレーキパッドを押圧するピストンと、コントローラからの制御信号に応答して回転運動する電動モータと、該電動モータの回転運動を直線運動に変換して前記ピストンを進退動させるボールランプ機構と、前記ブレーキパッドの摩耗に応じて前記ピストンを前進させるパッド摩耗補償機構とを備えた電動ディスクブレーキにおいて、

前記コントローラの起動時に前記ピストンを後退させる方向に前記電動モータを回転させて、前記ボールランプ機構を終端位置まで移動させることを特徴とする電動ディスクブレーキ。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 9  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

上記の課題を解決するために、本発明は、ディスクロータの両側に配置される一対のブレーキパッドと前記ブレーキパッドを押圧するピストンと、コントローラからの制御信号に  
応答して回転運動する電動モータと、該電動モータの回転運動を直線運動に変換して前記  
ピストンを進退動させるボールランプ機構と、前記ブレーキパッドの摩耗に応じて前記ピ  
ストンを前進させるパッド摩耗補償機構とを備えた電動ディスクブレーキにおいて、

前記コントローラの起動時に前記ピストンを後退させる方向に前記電動モータを回転さ  
せて、前記ボールランプ機構を終端位置まで移動させることを特徴とする。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 0  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 1 0】

このように構成したことにより、コントローラの起動時にピストンを後退させる方向に

電動モータを回転させて、ボールランプ機構を終端位置へ移動させることによって、電動モータの初期位置を正確に位置決めすることができ、これに基づいてパッド接触位置を決定することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

【発明の効果】

以上詳述したように、本発明の電動ディスクブレーキによれば、コントローラの起動時に前記ピストンを後退させる方向に前記電動モータを回転させて、ボールランプ機構を終端位置へ移動させることによって、電動モータの初期位置を正確に位置決めすることができ、これに基づいてパッド接触位置決定することができる。ボールランプ機構の終端位置は、温度変化やブレーキパッドの摩耗によるブレーキキャリパの剛性の変化による影響を受けにくいので、常に正確にパッド接触位置を決定することができる。